

河北新報普及センターと尚絅学院大がつくる名取のメディア

# ハナモモ通信

2019年 10月



ハナモモちゃん

【発行】河北新報普及センター  
 【協力】尚絅学院大 河北仙阪  
 【エリア】名取市内  
 【部数】11,600部  
 【電話】022(266)2991



自転車GO!

**名取** ちよい

**旅**

閉上編

自転車であつととした旅に出てみよう！ 普段見慣れた街並みでも新たな発見があるかもしれない。JR名取駅を出発点に、名取の名所や店を巡る「ちよい旅」を楽しんだ。今回は閉上地区を目指す。さわやかな風を切り、さあ、出発！

## 地域再生への息吹を実感

### ▼多賀神社、病氣平癒に御利益

名取駅から東へ真つすぐ伸びる県道閉上港線をゆつくり進む。国道4号を超え、名取市役所、名取北高を横目に閉上へ向け、ひた走る。

名取北高を過ぎると黄金色に輝く田んぼが見えてきた。さらに東へ。すると左手には多賀神社。先月お会いした時に宮司の伊藤英司さんは「多賀神社は病氣平癒、旅行安全などに御利益がある。近年は美田園などの住宅地ができ参拝者も増えてきた。周囲を守るとともに、神社を通してにぎわいをつくっていききたい」と話していた。

さらに東へとペダルをこぐ。津波被害があつた小塚原地区周辺からはほと

### ▼かわまちてらす閉上活気づく

震災で壊滅的な被害を受けた閉上地区は、かさ上げされ、新たなまちができてようとしている。閉上地区への「入口」にあつた五差路はもうない。真新しい白線が引かれ、きれいに舗装された道路は走りやすいが、何か物寂しさを感じた。しかし、話題の商業施設「かわまちてらす閉上」に立ち寄ると、気持ちは一変した。施設はにぎわい、復興へと突き進む思いと活気にあふれていた。名取川の堤防から見た景色も格別。山、川、

海が一望できる大パノラマだ。そよぐ風が気持ちいい。心を癒された。最後に訪れたのは、名取トレイルセンター。環境省が東日本大震災の復興支援として整備を進めてきた長距離自然歩道「みちのく潮風トレイル」の拠点施設だ。被災した八戸市・相馬市を結ぶ全長約1000mの自然歩道は、今年6月に全線開通した。スタッフは「最近外国人のハイカーも訪れている。秋は歩くのに最高の季節。ぜひチャレンジしてほしい」と笑顔で話す。施設からの日帰りコースなどについて尋ねると「震災遺構の仙台市立荒浜小までが手頃のコース。南に向かって歩けば、1日コースだが、阿武隈川沿いも最高の景色が楽しめる」と丁寧にアドバイスしてくれた。

あの日から8年半が過ぎ、再生へと歩みを進める閉上地区。かわまちてらす閉上などを拠点に、にぎわいが戻ってきた。新たなまちに期待を抱き閉上地区を後にした。

- ①かわまちてらす閉上②閉上小中学校の避難案内図③県道閉上港線と県道塩釜巨理線との交差点④震災メモリアル公園⑤日和橋からの風景⑥閉上に掲げられた横断幕⑦多賀神社と宮司の伊藤さん⑧名取トレイルセンター⑨仙台東部道路と県道129号が交差する地点まで津波がきた



# 採れたて「秘伝豆」調理

## 手作りのずんだ餅堪能

名取の特産品の一つ枝豆。中でも希少な「秘伝豆」を収穫してずんだ餅を作ります。地元の食に親しむイベント「農家で枝豆収穫&ずんだ餅手作り体験」(市観光物産協会主催)が10月6日、名取市下余田であり、親子ら18人が参加しました。

秘伝豆は、山形の内陸で長らく秘かに育てられてきた品種とされ、普通の枝豆

と比べて大粒で、柔らかかな甘みが特徴です。9月下旬から11月にかけてが旬となります。

参加者は農家の中澤仁さん(69)の畑で収穫を体験。葉の青々とした豆の株にはさやが豊かに実っており、子どもたちは株ごと抜いて収穫しました。

収穫したばかりの豆を作業場ですずんだに加工。初心



者は作り慣れたベテランの参加者に教わりながら、すりこぎで豆をつぶし、力を合わせてずんだあんを完成させました。

参加者の富澤美智さん(34)と娘の月詠(ゆえ)ちゃん(6)は、初めての体験を「つぶす作業が難しかったけれど、楽しみながらできました」と喜んでいました。

中澤さんは「野菜を育てるだけでなく、新たな加工品の販売を通じておいしさや魅力を伝えていきたい」と力を込めました。

(星野裕太)



# 地元閑上で再開

「常連客との縁大切に」



東日本大震災で被災した閑上地区の商業者らによる仮設商店街「閑上さいかい市場」を『卒業』し、今年4月にリニューアルオープンした衣料品店「せとや」を紹介しします。

1875年(明治8年)に創業し、当時は瀬戸物や着物販売。5代にわたって閑上に根を張り続け、現在は相原裕子さん(52)、片平敦子さん(51)姉妹と母親の3人で経営しています。現在、婦人服や学校指定制服を扱っています。



市場では、店舗内の温度調整が難しく、天井や床がゆがんでいるなど営業面以外で問題が多くありました。それでも、震災前に営業していたころからの常連客が、遠方の移住先から来店してくれたといいます。

震災で一度は営業が途絶えましたが、婦人会「閑上あみーず」のレインボーアクリルたわしやポロンティアが手作りしたストラップなどのグッズを販売し、徐々に売り上げを回復しました。

再開した明治時代から何よりも顧客との「縁」を大切にできたおかげで、つなぐの「円(輪)」が広がり、強くなりました。



2人は「かつての住民に戻った時に、一緒に思い出話ができるよう店を続ける。これからも縁を大切にしたい」と笑顔を見せました。

営業時間は10時～17時。毎週水曜日定休。

(石幡快)



## 11月のイベント情報

11月に市内で行われるイベント情報です。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇  
「第2回名取市民合唱祭」  
日時11月4日(月)

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇  
開場13時 開演13時30分  
場所11名取市文化会館中ホール

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇  
内容11名取市内で活動している合唱団体・個人による演奏会 問い合わせは名取市民合唱実行委員会090(7529)5270へ

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇  
入場無料

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇  
「オリンピック公式ビデオゲームツアー in イオンモール名取」

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇  
日時11月9日(土) 10時～16時

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇  
場所11名取市文化会館小ホール/演劇練習室

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇  
内容11赤ちゃん向け親子マツサージ、体力テスト、スポーツリズムトレーニングなど 問い合わせは総合型地域スポーツクラブ一般社団法人ボディジャンプ090(1377)5194へ

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇  
当日参加 大人(高校生以上)1人500円、小人(4歳以上)1人200円  
(菊地美里)

## ハナモモ 新人記者紹介

こんにちは、尚綱学院大学人文社会学類の鈴木雄大(すずき ゆうだい)です。

私は新しいことに挑戦することが好きで、ハナモモサークルを見つけた時、自分も取材や記事を書いてみたいと思いはじめました。がんばります！

